

令和6年度 事業報告

令和6年度においては、引き続き膜構造及び膜材料の一層の普及・発展に向け、膜構造の品質確保のための各種技術標準の整備、講習会・見学会等を会員の協力を得て円滑に実施するとともに、優れた作品や取り組みの表彰を行った。また、一層の普及に向けた制度改善について国土交通省等との協議調整を進めた。

今後の協会及び会員の活動に資するための調査研究については、近年の膜構造等の普及における課題や社会経済情勢等を踏まえ、着実に実施した。

国土交通大臣から指定を受けて実施している行政代行業については、建築材料品質性能評価事業及び型式適合認定事業を適切に実施した。

1 品質及び技術水準の確保向上（技術向上事業）について

- (1) 加工工場登録制度について、7工場の審査を行い登録した（継続6工場、新規1工場）。また、高度な品質管理を行う工場として2工場の認定を行った。（現在の登録工場数：A種、B種、C種及びテント倉庫用膜材料を加工する工場6工場、B種、C種及びテント倉庫用膜材料を加工する工場15工場、膜構造用フィルムを加工する工場4工場。認定工場数：A種膜構造の加工を行う工場4工場、B種、C種及びテント倉庫用膜材料の加工を行う工場6工場、膜構造用フィルムを加工する工場3工場。協会ホームページに掲載。）
- (2) 「膜施工管理技術者講習」を、令和7年1月29日及び30日に実施し、S種31名、M種9名が受講し、講習後の考査を経てS種31名、M種9名を登録した。（現在登録者数 S種79名、M種23名、R種4名、計106名。協会ホームページに掲載。）
- (3) 「定期点検者講習」を令和6年11月12日に実施し、35名が受講した。講習後の考査を経て35名を登録した。（現在登録者数：158名。協会ホームページに掲載。）
- (4) 大臣認定を受けた膜材料の定期的な第三者試験の実施に対する補助及び品質管理の推進に向けた JIS 品質管理セミナー受講への補助を引き続き行った（セミナー受講補助は実績なし）。
- (5) 令和6年6月に国土交通省告示666号等が改正されたことにより、大幅に膜構造建築物の設計の自由度が向上したことを踏まえ、「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準及び同解説」の改訂に向け準備を進めた。

2 技術発展のための調査研究の推進（調査研究事業）について

- (1) 今後の一層の安全性向上に、本協会に保管されている定期点検報告の維持管理に係る情報を活用するためデータ抽出作業を行い、活用方法の検討を進めた。
- (2) 欧州におけるフッ素系材料の使用制限の動き、脱炭素への動きに対し、動向の把握に勤めるとともに、会員の協力のもと膜構造に係るCO₂発生原単位算出にむけた検討・作業を行った。
- (3) 膜種別毎の膜材料等の出荷実績、用途別・膜種別毎の膜構造建築物及び膜天井の事業実績のアンケート調査を実施し、毎年度の膜構造の事業実績に関するフローデータを整備した。

(4) 「膜構造ジャーナル2023」について、投稿された研究論文について審査を了したもののについて投稿された技術情報等をともに年報として公開した。また膜構造ジャーナル2024について募集及び審査を行った。

3 普及情報事業の推進（技術情報事業）について

(1) 協会ホームページにおいて、膜構造に関する基礎的な情報、知見の提供、協会事業等に関する最新の情報発信を図るとともに、調査研究成果の活用に向け成果の公表を行った。また、協会事業への理解、膜構造等の一層の普及を図るため協会パンフレットの改訂を行った。

(2) 設計者、自治体等担当者向けの施設見学会を、11月に東京臨海部において実施した。

(3) 会員向け施設見学会の実施にむけた検討を行い、4月に中部圏において実施することとしその準備を行った。

(4) 会員の若手職員向け見学会・交流会を2月25日に開催した。見学先：平岡織染（株）滋賀ターポリン工場、太陽工業（株）瑞穂工場

(5) 膜構造・膜材料等にかかる優れた作品・取組み等について、令和6年度通常総会後に第一回の表彰を行うとともに、受賞者からのプレゼンテーション等を行った。

4 性能評価事業等（行政代行事業ほか）について

(1) 指定性能評価機関として、4件の膜材料に係る性能評価を了し、国土交通大臣への認定申請を行った。また、国土交通大臣の認定を受けた膜材料に係るサンプル調査の実施に協力した。

(2) 膜構造に係る型式認定に係る指定認定機関として、1件のテント倉庫建築物の審査を行った。（申請者の都合により取り下げられた。）

(3) 膜構造建築物に係る技術審査として、2件の審査を行った。

5 会議等の開催状況

(1) 総会

令和6年度通常総会を6月18日に開催し、令和5年度事業報告及び決算の承認、定款の一部改正および任期満了にともなう役員を選任を行うとともに、令和6年度事業計画及び収支予算の報告を行った。総会後に表彰式、受賞者プレゼンテーション、膜の一層の普及に向けたシンポジウムを開催した。

(2) 理事会

① 第1回通常理事会（5月29日）

令和5年度事業報告及び決算、通常総会の議案に関する審議を行うとともに、第1回表彰の対象者を決定した。

② 第2回臨時理事会（6月18日）

総会において選任された新たな役員により、会長、副会長および専務理事の選定を行い、川口会長、能村副会長、水谷専務理事が引き続き勤めることが決定された。

③ 第3回臨時理事会（12月4日）

第3種正会員3名の入会にかかる審議、定期点検者登録規程の改定などの審議を行うとともに、理事の職務執行状況の報告を行った。

④ 第4回通常理事会（令和7年3月27日）

令和6年度事業計画及び令和6年度予算の承認、令和7年度通常総会の開催の決定等を審議するとともに、表彰対象の審査状況などの報告を行った。

(3) 企画運営委員会

委員会を3回開催し、理事会付議事項及び報告事項の確認、協会の運営に係る重要な事項の等の協議を行った。

(4) 品質・技術研究委員会

令和6年度中に、2回の委員会を開催し、調査研究をはじめ品質、技術の維持向上等にかかる協議・検討を行った。

(5) 普及情報委員会

委員会を3回開催し、膜構造普及のための講習会の実施、設計者等むけ見学会・講習会、会員向けの施設見学会、会員若手職員むけ研修会等の実施にむけた協議・検討を行った。

(6) 表彰委員会

委員会を2回開催し、応募のあった作品等の予備審査、現地審査（膜構造デザイン賞）及びプレゼンテーション審査（技術賞・環境貢献賞）を踏まえた表彰対象の選考を行った。

(7) 維持保全専門委員会

委員会を2回開催し、定期点検報告書22件の審査を行った。

(8) 工場登録専門委員会

委員会を2回開催し、工場登録及び認定に係る工場審査等の審議を行った。

(9) 論文集委員会

委員会を1回開催し、投稿された研究論文の審査状況等を踏まえ膜構造ジャーナル2024への掲載について審議を行った。

(10) 性能評価委員会

性能評価委員会を4回開催し、膜材料5件についての性能評価を行った。

(11) 型式適合認定委員会

委員会を1回開催し、1件についての審査を行った（その後取り下げ）。

(12) 性能評価業務及び型式適合認定業務に係る監視委員会

委員会を1回開催し、令和5年度業務に係る審議を行い、国土交通大臣に報告を行った。

(13) 膜構造技術審査委員会

委員会を2回開催し、申請された技術審査案件の審議を行った。

6 会員の動向

	令和6年度末	令和5年度末
第1種正会員	19社	19社
第2種正会員	15社	15社
第3種正会員	81名	83名
第4種正会員	6社	6社
賛助会員	1社	1社
合計	122会員	124会員

(参考)

工場登録・認定状況

区 分		登録・認定状況 R 7.3.31現在	令和6年度審査実施工場	
			継続工場	新規工場
登録	① B種・C種・テント倉庫用膜材料を加工する工場	15工場	5工場	1工場
	② A種・B種・C種・テント倉庫用膜材料を加工する工場	6工場	1工場	
	③ 膜構造用フィルムを加工する工場	4工場	1工場	
認定	① B種・C種・テント倉庫用膜材料を加工する工場	6工場	1工場	
	② A種膜材料を加工する工場	4工場	1工場	
	③ 膜構造用フィルムを加工する工場	3工場	1工場	

複数の区分の登録又は認定を受ける工場あり

膜施工管理技術者 登録数

		S種	M種	R種
登録者数 令和7年4月1日現在		79名	23名	4名
令和6年度講習	受講者数	31名	9名	0名
	合格者数	31名	9名	0名
	不合格者数	0名	0名	0名

定期点検者 登録者数

登録者数 令和7年4月1日現在	令和6年度講習		
	受講者数	合格者数	不合格者数
158名	35名	35名	0人